

令和5年2月6日

予算の特徴

桑名の将来へ種をまく挑戦予算

◎令和5年度当初予算の戦略的重点事業

I. 人口減少対策

- ・桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプランの推進

II. 総合計画を推進するための「3本の柱」

① 市民の皆様の命を守るための「防災力の強化」

- ・消防本部機能の高台移転 ・避難対策の推進 ・国土強靱化の推進 など

② 時代に対応したサービスを市民の皆様へ提供するための「スマート自治体への転換」

- ・行政のデジタル化 ・地方公共団体情報システム標準化 ・DX・GX人材確保 など

③ 持続可能なまちを創造していくための「安定した財政基盤の確立」

- ・大山田PAのスマートインターチェンジ化 ・企業誘致の推進 など

III. 「重点プロジェクト」の推進

- ・多度地区小中一貫校整備 桑名駅周辺整備 など

IV. 「誰一人取り残さない」まちへ

- ・SDGsの理念 持続可能な社会の実現

予算の規模

- ◆ 令和5年度 一般会計当初予算 543.7億円
(令和4年度対比 17.0億円、3.2%の【増】)

当初予算規模の推移

(単位：千円)

当初予算	R1	R2	R3	R4	R5
予算額	50,617,193	50,815,449	52,027,111	52,674,172	54,367,340
増減率	▲2.4%	0.4%	2.4%	1.2%	3.2%

市税の状況

- ◆ 市税収入は、前年度対比で 6.8億円、3.1%【増】の 222.8億円
 - ・ 市民税 104.6億円 (R4 99.2億円、5.4%)
 - 個人 94.6億円 (R4 89.5億円、5.7%)
 - 法人 10.0億円 (R4 9.7億円、3.1%)
 - ・ 固定資産税 95.1億円 (R4 94.4億円、0.7%)
 - 土地(現年) 31.8億円 (R4 32.0億円、▲0.6%)
 - 家屋(現年) 41.9億円 (R4 41.3億円、1.5%)
 - 償却(現年) 20.3億円 (R4 20.0億円、1.5%)

地方消費税交付金の状況

- ◆ 地方消費税交付金は、前年度対比で 3.4億円、11.5%【増】の 33.0億円

地方交付税及び臨時財政対策債の状況

- ◆ 地方交付税及び臨時財政対策債は、前年度対比で ▲3.5億円、6.1%【減】
の 53.6億円
 - 地方交付税 + 臨時財政対策債
= 53.6億円 (R4 57.1億円、▲6.1%)
 - ・ 地方交付税 48.2億円 (R4 47.4億円、1.7%)
 - 普通交付税 40.1億円 (R4 39.8億円、0.8%)
 - 特別交付税 8.1億円 (R4 7.6億円、6.6%)
 - ・ 臨時財政対策債 5.4億円 (R4 9.7億円、▲44.3%)

繰入金の状況

- ◆ 繰入金は、前年度対比で 9.6 億円、31.6%【増】の 40.0 億円
 - ・ 財政調整基金繰入金 24.7 億円 (R4 14.5 億円、70.3%)
令和3年度末 財政調整基金残高 決算 55.9 億円
令和4年度末 財政調整基金残高見込み 64.2 億円

年度末財政調整基金残高の推移

	R1 決算	R2 決算	R3 決算	R4 決算見込み
年度末財政調整基金残高	45.9 億円	43.4 億円	55.9 億円	64.2 億円

市債の状況

- ◆ 市債は、前年度対比で 3.3 億円、8.9%【増】の 40.2 億円
 - ・ 臨時財政対策債 5.4 億円 (R4 9.7 億円、▲44.3%)
 - ・ 合併特例事業債 11.3 億円 (R4 0.1 億円、11,200.0%)
 - ・ 公共施設等適正管理推進事業債
9.8 億円 (R4 12.9 億円、▲24.0%)
 - ・ 緊急防災・減災事業債 6.2 億円 (R4 6.8 億円、▲8.8%)

起債額の推移

	R1 当初	R2 当初	R3 当初	R4 当初	R5 当初
一般会計	46.3 億円	43.0 億円	63.9 億円	36.9 億円	40.2 億円
うち臨財債	16.2 億円	17.2 億円	30.0 億円	9.7 億円	5.4 億円

年度末市債残高の推移

	R1 決算	R2 決算	R3 決算	R4 決算見込み	R5 当初
一般会計	545.9 億円	551.6 億円	550.4 億円	531.1 億円	516.0 億円
うち臨財債	253.1 億円	251.7 億円	258.1 億円	245.2 億円	231.0 億円

義務的経費の状況

- ◆ 義務的経費は、前年度対比で 1.4 億円、0.5%【減】の 277.8 億円
 - ・人件費 97.4 億円 (R4 100.1 億円、▲2.7%)
 - ・扶助費 123.5 億円 (R4 119.2 億円、 3.6%)
 - ・公債費 57.0 億円 (R4 59.9 億円、▲4.8%)

公債費の推移

当初予算	R1	R2	R3	R4	R5
一般会計	61.9 億円	59.4 億円	59.0 億円	59.9 億円	57.0 億円

投資的経費の状況

- ◆ 投資的経費は、前年度対比で 8.9 億円、18.7%【増】の 56.6 億円

投資的経費の推移 (下段は対前年度比)

当初予算	R1	R2	R3	R4	R5
一般会計	60.4 億円	52.3 億円	51.7 億円	47.7 億円	56.6 億円
	▲14.3%	▲13.5%	▲1.1%	▲7.8%	18.7%

その他の経費の状況

- ◆ その他経費は、前年度対比で 9.3 億円、4.7%【増】の 209.2 億円
 - ・物件費 89.8 億円 (R4 82.4 億円、 9.0%)
 - ・維持補修費 4.9 億円 (R4 4.5 億円、 8.9%)
 - ・補助費等 60.4 億円 (R4 62.8 億円、 ▲3.8%)
 - ・積立金 7.2 億円 (R4 5.9 億円、 22.0%)
 - ・繰出金 45.9 億円 (R4 43.3 億円、 6.0%)
 - ・その他 (貸付金 0.6 億円、予備費 0.3 億円)

令和5年度当初予算主な事業

1 中央集権型から全員参加型の市政に

- ◆ **地域コミュニティ推進事業費** 【継続】 3,570万9千円 《総務費》
「市民の個性が活かせる地域コミュニティ」を確立するため、令和4年度までに認定されたまちづくり協議会にまちづくり交付金を交付するなど、地域の特性に応じた活動が展開できるよう財政支援等を行い、地域運営組織の形成に向けた取組を促進する。

- ◆ **若者共創社会実現事業費** 【新規】 97万8千円 《総務費》
多様化する価値観を持つ若者の考え・気持ちを施策に反映させ、社会の変化に対応したまちづくりを進めるとともに、若者が継続的に住み続けたいと思うまちづくりを推進する。

- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（大山田地区市民センター施設整備費）** 【新規】
8,145万4千円 《総務費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（大山田まちづくり拠点施設施設整備費）** 【新規】
2億4,885万6千円 《総務費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（防災広場施設整備費）** 【新規】
1,347万4千円 《総務費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（立体駐車場施設購入費）** 【新規】
6億764万円 《総務費》
消防本部の高台移転に加え、大山田地区市民センター・まちづくり拠点施設との複合施設を建設することで、市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図る。

2 命を守ることが最優先

- ◆ **福祉総合相談事業費** 【継続】 2,174万8千円 《民生費》
介護、子育てなど複雑化する福祉分野の相談に包括的に対応するため、桑名地区・多度地区・長島地区に設置した「福祉なんでも相談センター」において、必要な福祉サービスの紹介や関係機関との調整を行う。

- ◆ **病院事業運営費負担金** 【継続】 7億612万1千円 《衛生費》
地方独立行政法人である桑名市総合医療センターが実施する高度医療、救急医療、小児医療等の病院事業運営経費の一部について、設立団体である市が負担する。

- ◆ **成人帯状疱疹予防接種助成事業費** 【新規】 541万3千円 《衛生費》
50歳以上の市民を対象に、帯状疱疹のワクチン接種に助成を行うことでワクチン接種を推進し、帯状疱疹の発症及び重症化を予防する。

- ◆ **空き家対策総合支援事業費** 【新規】 150 万円 《土木費》
近隣に悪影響を与えている特定空家等の所有者等に対し、除却費用の一部を補助することで、特定空家等の除却を促進する。
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（消防本部施設整備費）** 【新規】
5 億 1,814 万 5 千円 《消防費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（大山田分署施設整備費）** 【新規】
2 億 2,468 万円 《消防費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（大山田分署感染症対策施設整備費）** 【新規】
7,411 万 6 千円 《消防費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（無線機器移設関係経費）** 【新規】
1,430 万円 《消防費》
- ◆ **消防庁舎等再編整備事業費（消防団施設整備費）** 【新規】
1,936 万 7 千円 《消防費》

市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図るため、消防本部の高台移転を含む消防庁舎等再編整備を実施する。

- ◆ **保存版ハザードマップ作成費** 【新規】 128 万 9 千円 《消防費》
令和 4 年度に新たに「河川ごとの浸水想定区域図」が三重県より公表されたことから、市民向けに追加のハザードマップを作成・配布し、市民の安全・安心の確保を図る。

3 こどもを3人育てられるまち

- ◆ **出会い・結婚支援事業費** 【新規】 134 万 2 千円 《総務費》
マッチングアプリ事業者との連携による出会い支援や、仮想空間「メタバース」を活用した婚活イベントを開催し、恋愛や結婚を希望する市民が、その希望が叶うきっかけづくりを提供する。
- ◆ **子ども医療費** 【拡充】 5 億 394 万 9 千円 《民生費》
子育て家庭など若い世代の流入・定着を促し、すべての子育て家庭が安心して子育てができる環境を整備するため、保護者の所得制限を撤廃するとともに、18 歳まで（高校生相当）対象者を拡大する。
- ◆ **待機児童対策事業費補助金** 【継続】 1 億 2,806 万 8 千円 《民生費》
待機児童対策として、私立保育園の低年齢児保育等に事業補助を行い、保育需要の高い 0 歳児、1 歳児の受け入れ及び障害児の受け入れの拡大を図る。
- ◆ **私立保育園整備補助金** 【継続】 2 億 6,036 万 5 千円 《民生費》
保育の供給量を確保し、待機児童を出さない保育環境を整備することを目的とし、私立保育園の施設整備等に対し補助を行う。

- ◆ **AIチャットボットによる子育て応援事業費** 【新規】 926万9千円 《民生費》
AIチャットボットを導入し、子育ての情報を速やかに検索、取得できるようにすることで、子育て支援の更なる充実と情報発信を図る。
- ◆ **選べる桑名子育てリフレッシュ事業費** 【新規】 1,394万6千円 《民生費》
市と民間事業者が協力し、子育て世帯が、選ぶことができるリフレッシュ事業を提供し、子育て世代のウェルビーイングを高め、定着環境整備を図るとともに、子育てを応援する機運を醸成する啓発も行う。
- ◆ **桑名市版子ども応援手当（児童手当拡大対応）** 【新規】 2億1,660万8千円 《民生費》
児童手当法施行令の一部改正により児童手当（特例給付を含む）を受給できなくなった世帯及び、中学校卒業後から18歳まで（高校生相当）の子どもがいる世帯に、対象児童1人当たり月額5,000円を市独自で給付する。
- ◆ **養育費に関する公正証書等作成支援事業費** 【新規】 45万2千円 《民生費》
養育費の取り決めに関する公正証書の作成等にかかった費用に対し補助を行い、子どもの生活、成長を支える養育費の取り決め内容の継続した履行確保を図る。
- ◆ **新生児聴覚スクリーニング検査事業費** 【新規】 467万2千円 《衛生費》
新生児聴覚検査を実施するための体制整備を行い、聴覚障害の早期発見・早期療育を図る。
- ◆ **教育ICT環境整備事業費** 【継続】 3億922万9千円 《教育費》
新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力に定義された情報活用能力を、桑名の子ども達が9年間の義務教育を通して身に付けられるようにするため、市内小中学校におけるICT環境の整備を継続的に行う。
- ◆ **小中学校再編計画策定事業費** 【新規】 818万1千円 《教育費》
人口減少に伴う児童生徒数の減少がもたらす小中学校の小規模化及び学校施設等の老朽化が進行する中、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、多度地区以外の小中学校の教育環境について整備を行う。
- ◆ **多度地区小中一貫校建設事業費** 【新規】 3億8,300万円 《教育費》
多度地区における小中一貫校整備について、設計施工一括発注方式による事業者ノウハウを活かし、本年度は設計及び造成を行う。

4 世界に向けて開かれたまち

- ◆ **三方領地替え200年記念事業費** 【新規】 30万円 《総務費》
令和5年で文政6（1823）年の三方領地替えから200年目を迎えるため、記念品を製作し、3市の友好をより緊密なものにする。
- ◆ **英語教育プラン推進事業費** 【継続】 399万5千円 《教育費》
児童生徒のグローバル社会で通用するコミュニケーション力を育成するため、小中学校での外国語の授業を支援する体制を整える。
- ◆ **日本語学習環境充実事業費** 【新規】 112万円 《教育費》
初期日本語指導教室に通うことができない外国人児童生徒のため送迎手段を保障することで、日本語の習得及び学力保障、将来の進路保障につなげる。

5 地理的優位性を活かした元気なまち

- ◆ **次世代モビリティサービス推進事業費** 【継続】 2,500万円 《総務費》
社会情勢の変化に対応するため、従来のシステムに代わる新たな交通ネットワークのあり方や、将来的な自動運転の実現可能性の検討を行うための実証実験を実施する。
- ◆ **AI活用型オンデマンドバス導入推進事業費** 【新規】 1,800万円 《総務費》
地域住民の移動需要に応える新たな移動手段として、AIを活用した配車やルート検索等の機能を備えたオンデマンドバスの実現可能性を探るための取組を行う。
- ◆ **移住・定住促進事業費** 【新規】 5,330万円 《総務費》
人口減少対策に寄与するため、県外及び市外から本市へ移住する目的で住宅を取得した方に対して、最大補助額100万円の補助金を交付する。
- ◆ **桑名駅周辺人口集積促進事業費** 【新規】 2,000万円 《総務費》
桑名駅周辺地区の特別用途地区（商業業務誘導地区）において、特定建築物の建築を行おうとする者に対して、助成を行い、魅力あるまちづくりの促進を図る。
- ◆ **北勢線運営支援事業費** 【継続】 1億6,141万8千円 《総務費》
北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。
- ◆ **コミュニティバス運行事業費** 【継続】 1億5,957万1千円 《総務費》
車を利用できない方や今後運転が困難になる高齢者などの移動手段を確保するため、既存公共交通の補完的な役割を果たすコミュニティバスの運行等を行う。

- ◆ **養老線運営支援事業費** 【継続】 1億4,503万5千円 《総務費》
養老線の第三種鉄道事業者である一般社団法人養老線管理機構に対し運営費負担金を支出し、沿線住民の交通手段を確保する。
- ◆ **観光誘客推進事業費** 【継続】 435万円 《商工費》
桑名駅が“観光の顔”としてふさわしいものとなるようにぎわいづくりに努め、観光協会や地域の経済団体等と連携し、街路樹等を活用してイルミネーションを実施する。
- ◆ **スマートインターチェンジ推進事業費** 【継続】 630万円 《土木費》
都市計画マスタープランに位置づけられた、多度地域の南部やインターチェンジ周辺の産業誘導ゾーンへの企業立地をサポートする広域交通網の充実や都市内幹線道路の整備を図る。
- ◆ **道路防災対策事業費** 【継続】 2億1,800万円 《土木費》
災害の発生を予防し、または災害の拡大を防止することを目的に、市内各所における道路施設の整備を行う。
- ◆ **橋梁長寿命化対策事業費** 【継続】 1億9,000万円 《土木費》
橋梁の維持管理において、従来の事後的補修から致命的な損傷が顕在化する前に計画的な補修及び耐震補強を実施し、長寿命化を図る。
- ◆ **桑名北部東員線等** 【継続】 2,320万円 《土木費》
スマートインターチェンジ設置に向けたアクセス道路として、桑名北部東員線の未整備区間である主要地方道四日市多度線～国道258号の整備を行う。また、民間区画整理事業に伴う桑名北部東員線及び大山田播磨線の用地を公共施設管理者負担金により取得する。
- ◆ **桑名駅周辺施設整備事業費** 【継続】 2,244万6千円 《土木費》
民間事業者の提案に基づき、桑名駅周辺を再編することにより、都市機能の集積を図り、利便性・安全性の向上とともに賑わいと活力ある拠点づくりを進める。
- ◆ **土地区画整備事業費** 【継続】 17億4,758万3千円 《土木費》
桑名駅西側地域において、木造密集市街地が連続するなど、早急な都市基盤整備が望まれる地域となっているため、道路や駅前広場、下水道等のインフラを整備し、駅西口への円滑なアクセスと住環境の改善を図る。

6 桑名をまちごと『ブランド』に

- ◆ **ブランド推進事業費** 【継続】 723万4千円 《総務費》

本市の地域資源の魅力を体験する「桑名ほんぱく」を実施し、桑名に対する愛着や誇りを高めることで、桑名に訪れたい、住みたい、住み続けたいと思う人を増やしていくほか、地方創生推進交付金事業や忠勝プロジェクトを通してブランド力向上を図る。
- ◆ **パブリックリレーション事業費** 【継続】 759万1千円 《総務費》

マスメディアに幅広く市の魅力を情報発信する等プロモーション活動を行い、紙面・テレビ番組等のメディアに露出させることで、市の認知度・イメージ向上を図る。
- ◆ **六華苑竣工110周年記念事業費** 【新規】 199万5千円 《総務費》

六華苑が全国に誇る歴史的な建造物であることを市民に知ってもらい、シビックプライドの醸成を促進する。あわせて、市民が六華苑に親しみをもち、文化財保護の必要性、重要性の認識を図る。
- ◆ **移住支援事業補助金** 【継続】 300万円 《労働費》

東京圏から桑名市へ、移住・就業マッチング支援事業を活用して、移住・就業する場合や、「テレワーカー」が移住する場合、「専門人材」が移住・就業する場合を対象に、移住支援金を交付し、移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消を図る。
- ◆ **竹資源循環創出推進事業費** 【継続】 1,578万7千円 《農林水産業費》

桑名の竹を活用した事業を産官学で推進することで、放置竹林の解消を図るとともに地域内循環を促進し、SDGsの目標・理念に基づく未来に向けた農業・経済活動を推進する。
- ◆ **山林整備事業費** 【新規】 3,120万7千円 《農林水産業費》

NTN多度山ハイキングコースにおいて、土砂崩れ等により落石の恐れがある箇所や、通行の妨げとなっている箇所の補修、整備を行うことで、安全面の確保、環境保全につなげ、来訪者の増加を図る。
- ◆ **湛水防除事業費** 【継続】 1億1,831万3千円 《農林水産業費》

農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等を湛水被害から未然に防止するため排水機場などの新設又は改修や遊水池に堆積した土砂の排土を行う。
- ◆ **ため池等整備事業費** 【継続】 1,317万円 《農林水産業費》

農業用ため池の決壊・漏水による、農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等の洪水被害を未然に防止するための改修や堆積土砂の排土を行う。

- ◆ **スタートアップ共創推進事業費** 【新規】 1,086万8千円 《商工費》
 新たなビジネス領域での活躍が期待されるスタートアップとの共創を推進することで、市内事業者の新たな収益の柱を創出し、持続可能な経営を支援するとともに、本市の社会的課題の解決や、市民サービスの向上、地域価値の向上を図る。
- ◆ **企業等誘致奨励金** 【継続】 3,741万4千円 《商工費》
 本市の産業構造の高度化及び多様化を促進するとともに、企業の振興、産業の発展、市勢の進展を図るため、企業へ立地奨励金を交付する。
- ◆ **桑名水郷花火大会開催事業費** 【新規】 1,920万円 《商工費》
 昨今の社会情勢の影響で、花火大会の会場設営経費や警備費用が高騰している中で、さらにコロナ禍での対策も考慮しつつ、安全・安心に花火大会を開催する。
- ◆ **多度山快適性向上整備事業費** 【新規】 1,151万1千円 《商工費》
 本市の重要な観光資源である多度山を訪れる登山者の快適性の向上に資するため、ハイキングコースにある見晴台の修復等を行う。
- ◆ **桑名ファンクラブ拡大事業費** 【新規】 548万3千円 《商工費》
 人口減少対策として、本市の認知度向上を通じて、市への移住の裾野を拡大させるため、桑名ファンクラブを設立し、関係人口の拡大を図る。
- ◆ **総合運動公園** 【継続】 5,450万円 《土木費》
 総合運動公園について、「緑の中のスポーツ・レクリエーション」をコンセプトとして、緑豊かな自然環境を活かし、多様な利用ができる公園づくりを目指し整備を行う。
- ◆ **総合運動公園第四工区整備事業費** 【新規】 22万8千円 《教育費》
 スポーツ環境の充実と、市民の健康づくりの推進を図るため、「プール」建設のためのプロポーザルを実施する。

7 納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

- ◆ **地方公共団体情報システム標準化事業費** 【新規】 1,650万円 《総務費》
 地方公共団体において共通し、かつ、統一的な基準に適合する標準準拠システムへ移行することで、住民の利便性の向上及び行政運営の効率化を促進する。
- ◆ **DX・GXアドバイザー事業費** 【新規】 119万5千円 《総務費》
 専門的な知識や経験を持った外部の人材からの支援・助言を受けることで、本市におけるDX・GXをより一層推進する。

- ◆ **施設整備費（庁舎管理費）** **【新規】 5,272 万 2 千円** **《総務費》**
市民サービスを提供の拠点であり、災害時の防災拠点でもある本庁舎の重要な機能を維持するため、防火シャッター等各種施設の整備を行う。

- ◆ **窓口サービス等デジタル化推進事業費** **【継続】 1,028 万 8 千円** **《総務費》**
手続きのオンライン化推進、窓口でのタブレットや補助ディスプレイ活用を図るとともに、プログラミングの考え方を学ぶ教室を開催し、デジタルを活用した市民サービスの向上と業務の効率化を図る。

【参考】

< 財政基盤強化の種をまく予算制度 >

みんなで“変わる” “変える” 予算の状況

- ◆ 経常的経費では、従来の財政課での査定を廃止し、各部等に配分する予算枠をもとに自律的に部内調整を行いながら予算を編成するという手法をとっている。
- ◆ そして、「みんなで“変わる” “変える” 予算」として、次の17の視点をもとに各所属自らが対象事業すべてを厳密に点検して既存事業の見直しを行い、歳入予算の増加や歳出予算の削減を行った。

≪「みんなで“変わる” “変える” 予算」17の視点≫

- ①内部事務の精査、②内部事務や事業の集約化、③体制の見直し、④手法の変更・見直し、主体・執行体制の見直し、⑤委託の仕様内容、需用費等の見直し、⑥在庫等の有効活用、⑦公有財産の適正管理・戦略的活用、⑧執行残（決算）額との比較、⑨計画の見直し（平準化）、⑩国・県・他市基準との比較、⑪歳入の確保、⑫社会経済情勢の変化、目的の達成、⑬政策・施策への有効性、⑭公民連携の取組、⑮データやICTの活用による業務の効率化、⑯民営化・委託化、⑰業務の効率化・働き方を見直し

- ◆ この見直しの効果額は、一般財源ベースで4,085万円となった。
⇒ この捻出した財源については、現場の実情に即した予算措置のほか、少子高齢化を背景とした社会保障関係経費の増、まちづくりへの投資などに活用する。

がんばり“見える化” 予算の状況

- ◆ 「がんばり“見える化” 予算」は、各所属が所管する事務事業について、創意工夫、新たな手法・アイデアによる歳入の増収や経費節減の成果を評価し、増収額または節減額の全部または一部を所属部署の翌年度当初予算へ還元する制度。
- ◆ 今回のがんばり“見える化” 予算では、7部署より申請があり、取組みによる効果額の総額は870万2千円であった。そして、各取組みを評価した結果、付与額の総額は407万2千円となった。

- ◆ 主な取組としては以下のとおり。

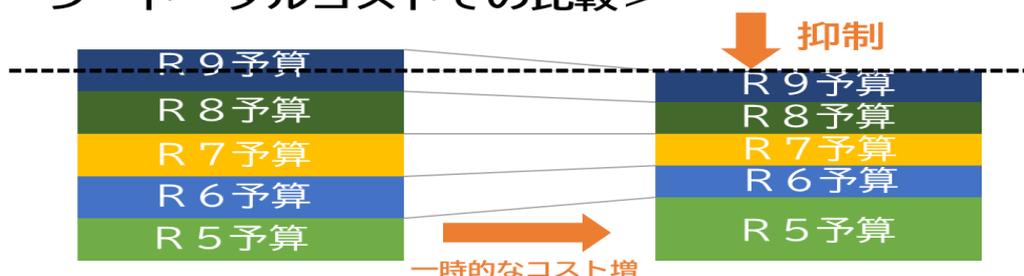
主な取組	所 属	効果額 (千円)	付与額 (千円)
桑名市公共施設予約システムのリプレース	生涯学習・スポーツ課	3, 1 1 5	2, 4 9 2
マチコミアプリ利用による郵送代の削減など	子ども総合相談センター	1 1 4	6 9
高齢者特殊詐欺被害防止対策事業及び高齢者運転免許証自主返納支援事業への特別会計からの繰出金の確保に充てる国庫補助金の確保	防災・危機管理課、介護高齢課	1, 3 4 6	5 3 9

- ◆ がんばり“見える化” 予算付与額は、市民サービス向上や職員の働き方改革・業務効率化に資する経費の予算に優先配分することとしている。上記のがんばり“見える化” 予算付与額407万2千円については、各所属の意向に沿って、23万円を令和5年度予算に反映し、384万2千円を令和6年度予算に反映する。

“長い目で見た” 改革予算の状況

- ◆ “長い目で見た” 改革予算は、経常的経費について、創意工夫のアイデアを基に、一時的な経費は掛かるが、5年以内のトータルコスト（一般財源）での比較では、歳出削減（歳入増収）効果が見込まれるものを特別要求予算枠として取り扱うもの。アイデアはあるものの一時的な経費が掛かることによりそれを断念するケースを無くすため、昨年度は3年以内としていた期間を拡充し5年以内としている。

<イメージ トータルコストでの比較>



- ◆ 今回の“長い目で見た” 改革予算では、1部署より申請があり、5年間のトータルコスト比較による効果額の総額は2万7千円であった。

主な取組	所 属	効果額 (千円)
深谷桑栄市民館において、令和5年度で根本から樹木の伐採を行うことにより、電線破損のリスクを除く。また令和6年度以降は桑栄市民館の樹木剪定は不要となるため、5年間のトータルコストでの抑制を図る。	福祉総務課	2 7